

●入江講師より『超直前期の過ごし方』

直前期では、残り時間に対する学習計画をし、やれることだけに集中し「仕上げ」をするようにしてください。ここでも念頭においてほしいのが完璧を求めないことです。

これまでもどこかで聞いていると思いますが、基本的に電験三種対策として、穴が全く無い状態にすることは不可能です。

これまでの学習で頻出かつ重要な内容を一通り学習してきましたが、この時期はわからない問題や知らない内容が気になり、そちらに注力する方が増えます。

もちろん穴が無くなることに越したことはないのですが、かなり難関な内容も多いので、かえって混乱する場合があります。

また、電験三種のような難関資格に一夜漬けのような学習はあまり効果はありませんし、時間ありませんので、わからない内容が残り続けると不安を感じるだけで、デメリットも多いです。

これまでの学習で合格点を得点するだけの学習はしっかりしてきているので、無理にする必要はありません。

ただ、今までしっかり準備してきた方は、逆に時間を持て余し、やれることを探して難問に挑戦する方もいると思いますので、

難問に関しては今までの知識をふまえて解けそうなら考えてみる、全く新しい概念が必要ならスルーするといった感じで割り切って学習するようにしてください。

ということで、以下のような優先順位で学習をしていただくのが良いかと思います。

①これまでの頻出かつ重要な内容の総復習・整理

(本試験用時にさっと振り返る用に簡単な要点集のようなものを作成しておくによりよいかと思います。)

②難問に挑戦(ほどほどに)

そして、何よりも気を付けてほしいことは「体調管理」です。

どんなに実力があっても受験できなければ意味がありませんので、無理せず、本試験で実力を発揮できるように調整ください。

また、本試験前日は本番で力を十分に発揮できるよう、ゆっくり頭を休めるようにしてください。

直前期だからといってあまり特別なことはせず、いつも通り過ごし、体調を整えて本試験に臨みましょう。

以上